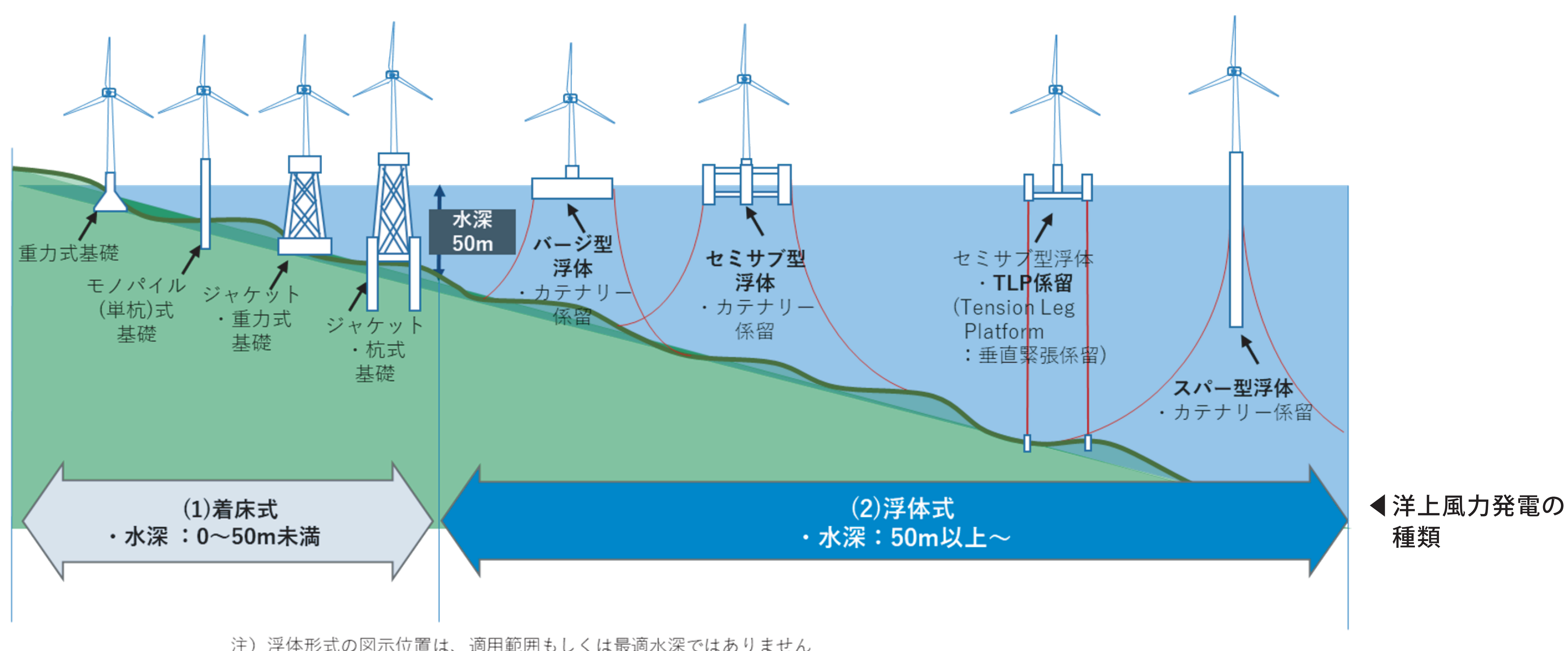




洋上風力発電の概要

日本の洋上風力発電を取り巻く環境

風力発電市場は世界的に急速な拡大が続いており、特に海に囲まれた日本では、今後洋上風力発電の導入促進が期待されています。2019年の「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律（再エネ海域利用法）」の施行や、2020年に国から示された「2050年カーボンニュートラル宣言」、「洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会」で示された「洋上風力産業ビジョン（第1次）」によって官民の具体的な目標が示されたことが後押しとなり、今後ますます洋上風力発電、とりわけ浮体式洋上風力発電の導入拡大が見込まれています。



NEDOの取り組み

NEDOは、洋上風力発電のさらなる導入拡大のために、日本の厳しい気象条件に適応した洋上風力発電技術の研究開発や洋上風力の導入をサポートする事業を実施しています。今後、さらに洋上風力発電の低コスト化技術開発を推進し、発電コストの低減及び産業競争力の強化を目指していきます。

2021年度からは、グリーンイノベーション基金事業（GI基金事業）の中で「洋上風力発電の低コスト化」プロジェクトを開始し、まずは「風車」「浮体式基礎製造」「浮体式設置」「電気システム」「運転保守」の分野の要素技術開発に取り組んでいます。



◀ 1980年台はじめに三宅島に設置した100kW風車



着床式洋上風力発電設備（銚子沖）▶

